

私たちは「犯罪のない明るい社会づくり」に協力しています

防犯対策「春陽号」

令和7年4月18日発行

(公社) 滋賀県防犯協会



県内の犯罪情勢については、令和3年に刑法犯認知件数が5,814件と昭和34年以降で最少となりましたが、翌年以降増加傾向が続き、令和6年は8,147件(前年比プラス376件、4,8%)となりました。

女性や子どもが被害者となる事案が引き続き発生しているほか、侵入盗や乗物盗などの窃盗や詐欺の被害が増加しています。

特に顕著なのは詐欺の被害で、「特殊詐欺」の発生件数は281件、被害総額7億3,740万円、「SNS型投資・ロマンス詐欺」の発生件数は252件、被害総額約19億9,700万円に上ります。

今年もすでに昨年と比べて増加傾向となっており、注意が必要です。

【警察に偽装した電話番号に注意！】

警察官をかたる特殊詐欺の犯人が、実在する警察署や警察本部の電話番号を偽装して表示させる手口が全国的に増加しています。

電話に出ると、警察官を名乗る人物が「あなたに犯罪の容疑がかかっている」などと言って不安をあり、SNSや別の電

話番号に誘導され、お金をだまし取られるものです。

実際の発信元と異なる電話番号を相手側に表示させる手口は「スプーフィング」などと呼ばれ、形を変えながら、以前から特殊詐欺に悪用されています。

任意の電話番号を表示させる技術は、すでに事業者向けサービスなどでも広がっていて、こうした仕組みが悪用されている可能性があります。

詐欺の手口は日々変化しています。このような電話を受けたら一度切って、自分で調べた警察の番号か「#9110」にかけて確認しましょう。



【行楽シーズンは盗難被害に注意！】

○車上ねらい

例年、行楽シーズンになると、観光地の駐車場などで車上ねらいが連続発生する傾向があります。クルマにドアロックをするのももちろん、外から見えるところにカバンや貴重品を置かないようにしましょう。

○空き巣

ゴールデンウィークなどの大型連休の時期は、長い期間留守にしたり、終日出かけたりする人が多いと思います。



玄関の鍵はしっかりかけても、意外に忘れがちなのがトイレや浴室、脱衣所の窓の施錠です。これらの窓は人目につかない場所であり、空き巣に狙われやすいので注意が必要です。

また、ポストの中がいつぱいになっていると、留守にしているのがすぐに分かってしまうため、新聞や郵便物は配達を止めてもらいましょう。

【SNSの投稿に注意！】

SNSで連休中に帰省したり旅行したりしていることをリアルタイムで投稿すると、家を留守にしていると世界中に公表しているようなものです。

投稿する場合はリアルタイムではなく、帰宅してから投稿したり、過去形で投稿したりすることで留守にしていることがわからなくなります。

また、公開範囲を友達などに限定したり、位置情報をオフにしたりなどの注意が必要です。

SNSアプリは頻繁にアップデートされます。位置情報をフォロワーに共有する新機能が追加されるなどもあるので、この機会に設定を確認しておきましょう。

